

平成30年度 北海道教育オーディオロジー研究協議会

冬の講習会 開催要項【第2報】

- 1 日 時 平成31年1月9日(水) 9時00分～14時50分
(受付開始：8時40分～)
- 2 会 場 北海道札幌聾学校(札幌市北区北26条西12丁目)
- 3 参加費 2000円(会員) 3500円(非会員)
- 4 申込方法 「北海道教育オーディオロジー研究協議会」ホームページへ入っていただき、メールにて申し込みを行ってください。
(道立学校の場合、学校のコンピューターからは申し込みができませんのでご注意ください。)

※北海道教育オーディオロジー研究協議会 <http://www.normanet.ne.jp/~hkdaudio/>

- 5 申込期日 平成30年11月19日(月)～平成30年12月25日(火)
- 6 情報保障について
午前・午後の講座ともに、パソコン要約筆記やUDトークによる情報保障を行う予定です。講座の中で専門的な用語が頻出した場合、情報保障に漏れや遅れが生じてしまう可能性があります。
- 7 定 員 80名 ※午後からの補聴器設定に関する講座は定員を15名とします。

8 講師紹介

高井 小織 氏(京都光華女子大学 講師)

広島県出身(元祖カープ女子!)京都大学教育学部卒業、立命館大学大学院応用人間学研究科修了。その後、京都市立二条中学校で国語科教諭・難聴学級担任として26年間指導をしてこられました。

現在は京都光華女子大学・健康科学部医療福祉学科言語聴覚専攻講師として、聴覚障害関連の項目を担当されています。主な研究テーマとしては、「思春期以降の聴覚障害のある若者の言語運用力」などがあります。

先生が発行しておられます通信「ことのは」には、そんな先生が関わってきた多くの卒業生のエピソードや社会に出てからの体験談などが多く紹介されています。聴覚障害の卒業生とは、今でも150人以上と交流があるそうです。

先生ご自身も幼少の頃から左耳が聞こえない「一側性難聴」でおられます。今回は、その当事者としての側面から一側性難聴についての話や一側性難聴の子どもに対する支援などのお話をいただきます。その他にも、聴覚障害のある中高生や大学生、若者に関すること、ご自身の難聴学級での多くの指導実践に関わることなど、様々な側面からもお話いただこうと思っています。

高井先生の娘さんが釧路の中学校で数学の先生をしてらっしゃるという北海道との縁もあり、今回の講習会でお話をいただくこととなりました。

10 時 程

【午 前】				
8:30～		受 付		
9:00～	10	オリエンテーション		
9:10～10:30	80	講座1 「一側性難聴・軽中等度難聴とその支援」 講師：高井 小織 （京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 講師）		
10:30～10:40	10	休 憩		
10:40～12:00	80	講座2 「思春期の縦軸・横軸の中で大切にしたいもの ～聴覚障がいのある子どもたちがしなやかでたくましくあるために～」 講師：高井 小織 （京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 講師）		
12:00～13:00	60	休 憩		
【午 後】				
13:00～14:30	90	初 級		
		中 級		
		講座3 学年別固定制難聴学級の 実践から 講師：高井 小織 （京都光華女子大学講師）	講座4 聾学校での自立活動 講師：海田 俊昌 （北海道函館聾学校長）	講座5 一人ひとりに合わせた 補聴器フィッティング 講師：牧 薫 （北海道札幌聾学校） 他：技術アドバイザー
閉 会				

※午後の講座については、講座3～5の中から選んでいただき、申込時に入力をお願いします。